

薬物使用の疫学:大麻を中心に

嶋根卓也(しまね たくや)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長

本発表に関して公表すべきCOI(利益相反)は特にありません。

薬物使用に関する全国住民調査

(1995-2019年)

目的:一般住民における薬物使用(医薬品使用を含む)の最新動向、経年変化を明らかにすること。わが国で唯一の薬物使用に関する全国住民調査(これまでに13回実施)

対象者:15歳~64歳までの一般住民7,000名

サンプリング:層化二段無作為抽出法

第1段:調査地点(全国250地点)を無作為に抽出

第2段:住民基本台帳より等間隔抽出法で無作為抽出

調查方法:留置訪問調查(一部、郵送調查)

回収数(率)3,961名(56.6%)

有効回答: 3,945名

(女性51.7%、平均43歳)



別添1:事前案内チラシ

第13回 飲酒・喫煙・くすりの使用 についての全国調査

《ご協力のお願い》



このチラシは、今年の9月~10月に実施される

「第13回 飲酒・喫煙・くすりの使用についての全国調査」の対象者として、あなた様が選ばれたことをご案内するとともに、調査の流れをご説明させていただくための資料です。

・実施団体およびアンケートの目的 =

- ・国立精神・神経医療研究センター(東京都小平市)は、厚生労働省が所管する病院・研究所です。
- ・私ども薬物依存研究部では、厚生労働科学研究事業の一環として、全国にお住まいの 15歳 ~64歳の 一般住民、計 7,000 名を対象とする全国調査を実施しております。
- ・対象者は、市・区役所あるいは町役場の住民基本台帳を使って、ランダムに決めたところ、あなた様 が対象者として選ばれました。
- ・調査の主な目的は、飲酒・喫煙・医薬品を含めた薬物使用に関するご経験やお考えを調べることです。 調査結果は、各種対策を考える上での大切な基礎資料となります。
- ・アンケートは無記名で行い、個人は特定されません。また、アンケートへの参加・不参加はあなた様の自由意志で決めることができます。
- ・この調査の実施につきましては、統計調査の専門調査機関である、「一般社団法人新情報センター」 に委託しております。
- ・お忙しいところ、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨と目的をご理解いただき、アンケートへの ご協力をお願いいたします。

実施主体

国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 東京都小平市小川東町 4-1-1 担当:嶋根・猪浦



調査の流れ(調査期間は、9月下旬~10月下旬です)

調査のご案内(本資料)

2 調査説明

調査期間中に、調査員がお宅を訪問します。アンケート用紙、回収封筒、ボールペンをお渡しいたします。

3 アンケートにご回答

お時間のある時に、アンケートにで回答ください。 (回答は任意です)

4 アンケートの回収

後日、調査員が回収に伺います。ご不在の場合は曜日や時間帯を変えて 何度が訪問いたします。アンケート用紙と一緒にお渡しする封筒に入れ、 密封の上、調査員にお渡しください。プライバシー保護のため、調査員 が封箇を開封することはありません。

5 アンケートの集計

国立精神・神経医療研究センターで行います。あなた様の住所・氏名等の 個人情報は、調査委託機関である新情報センターが調査終了後、速やかに 裁断処理いたします。調査主体である国立精神・神経医療研究センターは、 あなた様の個人情報に一切関与しません。

調査の公表

アンケートの結果は、対象者全体をまとめた形で集計いたします。 調査報告書は薬物依存研究部ホームページで公開いたします (2020年5月公開予定)

これまでの調査結果も公開されていますので、 ぜひご覧ください。

https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/index.html







お問い合わせ先

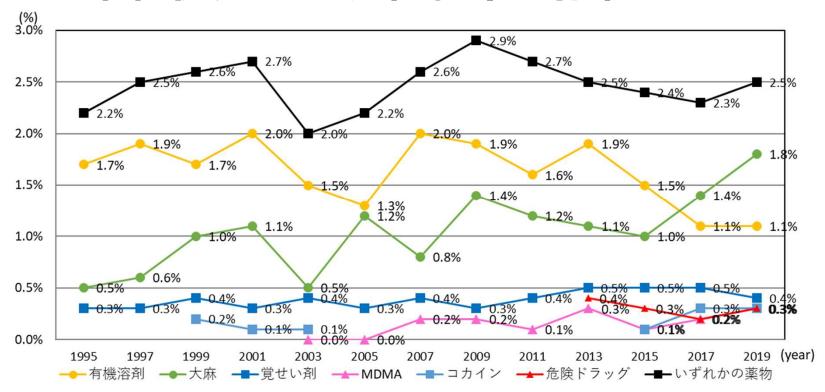
一般社団法人 新情報センター 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15

〈お問い合わせ〉 0120-21-5231 (平日9時~12時/13時~17時)

https://www.sjc.or.jp 担当:平栗・牛島

薬物使用に関する全国住民調査2019(国立精神・神経医療研究センター) https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2019.pdf

薬物使用の生涯経験率の推移 (1995-2019年)

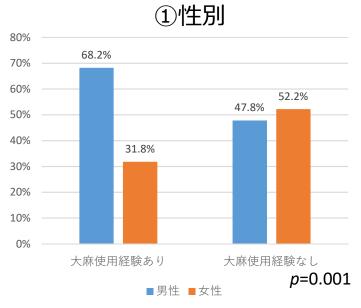


大麻経験者数の推計(2019年)

推計値:対象者のサンプリング方法(層化二段無作為抽出)に基づき、15~64歳の人口に当てはめた場合に統計的に算出される値。点推計値および95%信頼区間を示した。

- ①生涯経験者数:約160万人(119~202万人)
- ※これまでの人生で少なくとも1回以上の使用経験がある者。
- ②過去1年経験者数:約9万人(1.5~17万人)
- ※より現在の乱用状況を反映。国際比較で使われている指標。

大麻使用経験者の特徴(基本属性および飲酒・喫煙)

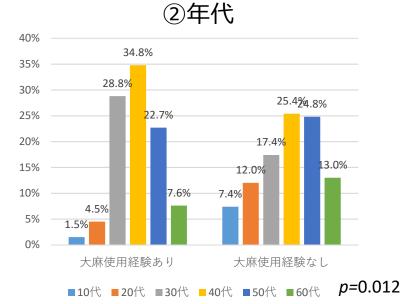




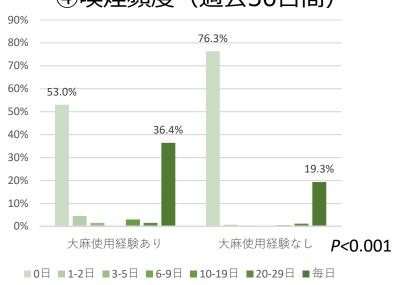
p=0.004

大麻使用経験あり(n=66)

大麻使用経験なし(n=3,825)

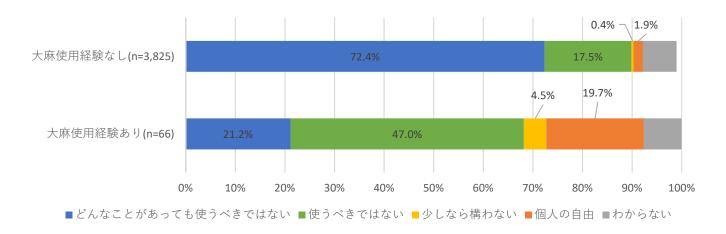


④喫煙頻度(過去30日間)

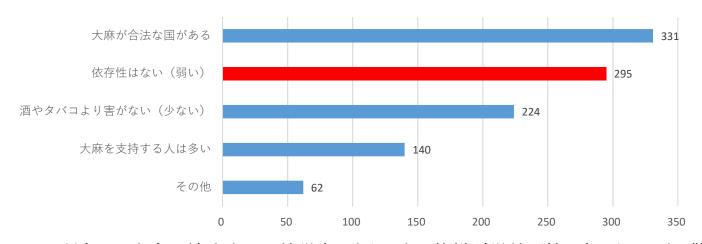


薬物使用に関する全国住民調査2019(国立精神・神経医療研究センター) https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2019.pdf

大麻を使うことに対する考え



大麻の危険性を軽視する理由



対象は、大麻取締法違反の検挙者のうち、違反態様が単純所持であった631名(警察庁)

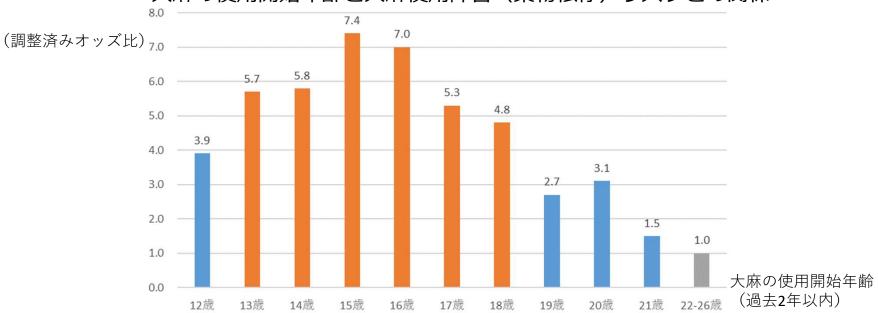
薬物使用に関する全国住民調査2019(国立精神・神経医療研究センター) https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2019.pdf

警察庁:大麻乱用者の実態に関する調査結果(NEWS LETTER KNOW, 麻薬・覚醒剤乱用防止センター、2020)

若年期の大麻使用は依存症のリスクを高める

18歳以前に大麻を使い始めた人は、成人してから使い始めた人に比べ、薬物依存と診断されるリスクが約5倍~7倍高い*

大麻の使用開始年齢と大麻使用障害(薬物依存)リスクとの関係



2003年の全米薬物使用調査(National Survey on Drug Use and Health)のデータを使って分析した。大麻を22-26歳に使い始めた人が大麻使用障害(薬物依存)として診断されるリスクを基準(1)とした場合、各年齢のオッズ比を算出した。図に示したのは性別、人種、世帯収入、人口密度などの影響を統計的に調整した調整済オッズ比。オレンジは統計学的有意差が認められた年齢。

^{*}Winters KC, et al: Likelihood of developing an alcohol and cannabis use disorder during youth: association with recent use and age. Drug Alcohol Depend 92(1-3): 239-247, 2008.

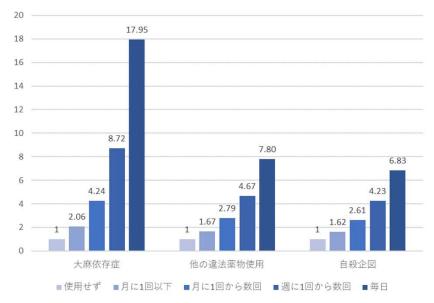
若年期の大麻の使用頻度は依存症のリスクと関連がある

若年期(17歳以前)に大麻を使っていない人が、28~30歳時点で大麻依存症と診断されるリスクを基準(1)とした場合、大麻の使用頻度が上がるにつれ、依存症のリスクが上昇する。

(調整済みオッズ比)

大麻の使用頻度と依存症リスク等との関連





オーストラリア・ニュージーランドにおける大規模コホート研究のデータをもとに算出された。高頻度の大麻使用は依存症のリスクのみならず、学業への悪影響、他の違法薬物使用、自殺企図のリスクも上昇させる。

*Silins E, Horwood LJ, Patton GC, Fergusson DM, Olsson CA, Hutchinson DM, Spry E, Toumbourou JW, Degenhardt L, Swift W, Coffey C, Tait RJ, Letcher P, Copeland J, Mattick RP; Cannabis Cohorts Research Consortium. Young adult sequelae of adolescent cannabis use: an integrative analysis. Lancet Psychiatry. 2014 Sep;1(4):286-93. doi: 10.1016/S2215-0366(14)70307-4. Epub 2014 Sep 10. PMID: 26360862.

飲酒・喫煙・薬物乱用についての 全国中学生意識・実態調査

(1996-2018年)

目的:中学生(12-15歳)における飲酒・喫煙・薬物使用の最新動向、経年変化を明らかにすること。わが国で唯一の薬物使用に関する全国中学生調査(これまでに12回実施)

対象者:全国240校に在籍している中学生 (約11万人)

サンプリング:層別一段集落抽出法

都道府県を層として、中学生数に比例して抽出対象校を決 定。各校の生徒数を基にした抽出確率でランダムに抽出。

調査方法:校内での自記式質問紙調査

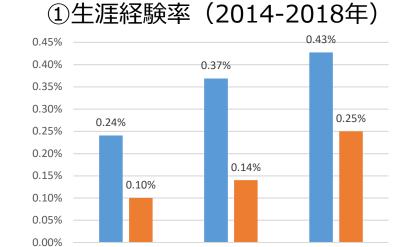
協力学校数(率):計183校(76.3%)

回収数(率)71,940名(62.4%)

有効回答:71,351名



大麻使用経験のある青少年の特徴

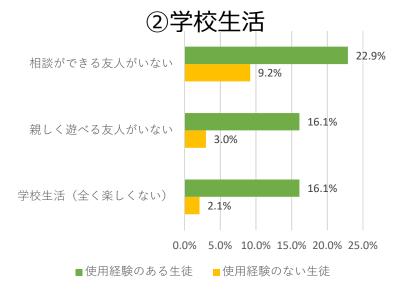


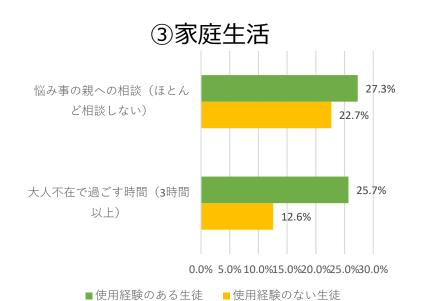
2016年

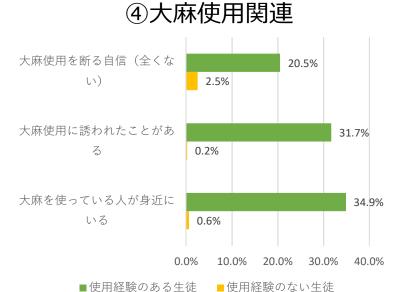
■男子 ■女子

2018年

2014年







大麻使用経験あり(n=249) 大麻使用経験なし(n=70,371)

飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査2018(国立精神・神経医療研究センター) https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NJHS_2018.pdf

大麻に関するエビデンスの情報発信

- (1)大麻に関する信頼性の高いエビデンスを国民(特に健康影響を受けやすい10代)が受け取りやすい表現・デザイン・方法で伝えていく。
 - ・例えば、10代の若者、大麻使用者の意見・価値観を取り入れることが重要**(当事者性)**
 - ・例えば、大麻の健康影響ばかりを強調するのではなく、医療 分野での活用についても触れるなど
- (2) 紙媒体の配布などこれまでの方法ではなく、10代がメッセージをより受け取りやすい方法を検討する(訴求性)
 - 例えば、メディアの種類は、テレビ・ラジオよりもインターネットの方が訴求力があるかもしれない
 - 例えば、10代に影響力のある有名人がSNS上でツイートする、人気Youtuberとコラボするなど

大麻に関するエビデンスをまとめたDrugFacts

若者向けのパンフレット



DrugFacts

www.drugabuse.gov

Marijuana

What is marijuana?



Photo by NIDA

Marijuana refers to the dried leaves, flowers, stems, and seeds from the *Cannabis sativa* or *Cannabis indica* plant. The plant contains the mind-altering chemical THC and other similar compounds. Extracts can also be made from the cannabis plant (see "Marijuana Extracts," see page 2").

Marijuana is the most commonly used psychotropic drug in the United States, after alcohol. Its use is widespread among young people. In 2018, more than 11.8 million young adults used marijuana in the past year. According to the Monitoring the Future survey, rates of past year marijuana use among middle and high school students have

remained steady, but the number of teens in 8^{th} and 10^{th} grades who say they use it daily has increased. With the growing popularity of vaping devices, teens have started vaping THC (the ingredient in marijuana that produces the high), with nearly 4% of 12^{th} graders saying they vape THC daily. In addition, the number of young people who believe regular marijuana use is risky is decreasing.²

Legalization of marijuana for medical use or adult recreational use in a growing number of states may affect these views. Read more about marijuana as medicine in our <u>DrugFacts:</u> <u>Marijuana as Medicine.</u>

How do people use marijuana?

People smoke marijuana in hand-rolled cigarettes (*Joints*) or in pipes or water pipes (*bongs*). They also smoke it in *blunts*—emptied cigars that have been partly or completely refilled with marijuana. To avoid inhaling smoke, some people are using vaporizers. These devices pull the active ingredients (including THC) from the marijuana and collect their vapor in a storage unit. A person then inhales the vapor, not the smoke. Some vaporizers use a liquid marijuana extract.



©Shutterstock/Stephen Orsillo

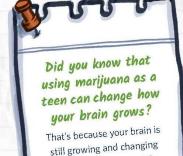
People can mix marijuana in food (*edibles*), such as brownies, cookies, or candy, or brew it as a tea. A newly

Marijuana • December 2019 • Page 1

Can you become addicted to marijuana?

Yes, you can. Over time, your body can get used to marijuana, so you feel bad if you don't take it. You might take it all the time just to feel normal and keep taking it even if it gets in the way of school, work, or friendships. This is called addiction.

Anyone can become addicted to marijuana. It doesn't matter how smart you are or where you live. There is no way to predict who is likely to become addicted.



until you get into your 20s.

What about medical marijuana?

Research shows that some of the chemicals in marijuana might be helpful with some kinds of pain, nausea, or possibly other conditions. Some states allow people with a wide range of illnesses to get marijuana legally as medicine, even though science hasn't proved it works for many of these illnesses. The government has also approved a few medicines in pill form that have marijuana chemicals in them but don't make you high.

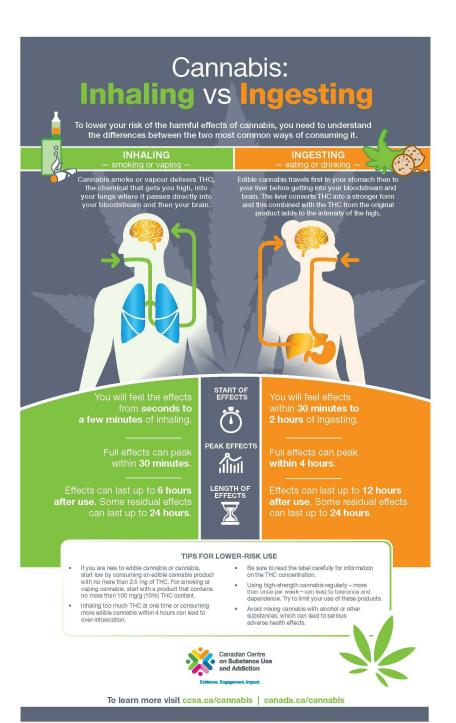
Only a doctor can give you these medicines. Scientists are looking at ways that chemicals in marijuana can help with other conditions, but it will take years of research.

Is marijuana legal?

Laws about marijuana for recreational use vary by state but it is **not legal for teens** in any state.



National Institute on Drug Abuse https://www.drugabuse.gov/



Know the Health Risks of Cannabis



Mental Health

Daily or near-daily use of cannabis can contribute to dependence and mental health problems over time.



Driving

Cannabis can impair your motor coordination, judgment and other skills required for safe driving.



Respiratory Effects

Toxic and carcinogenic chemicals found in tobacco smoke are also found in cannabis smoke, and can affect the lungs and airways.



Pregnancy

Substances in cannabis are transferred from mother to child and can affect your baby. Not using cannabis if pregnant or breastfeeding is the safest option.



Edible Cannabis

Consuming too much THC can lead to over-intoxication, which includes intense anxiety, vomiting and symptoms of psychosis (paranoia).



Cannabis Extracts

Cannabis extracts with high THC content increase the risk of over-intoxication and addiction.



Stay Informed ccsa.ca/cannabis

ccsa.ca/cannabis canada.ca/cannabis



Evidence. Engagement. Impact.

Canadian Centre on Substance Use and Addiction (CCSA) https://www.ccsa.ca/

大麻使用者に対する支援の課題 (問題提起)

- 1. 大麻使用者(事犯者)の薬物依存の重症度、大麻使用の背景にある問題性、再犯との関係性などが十分に研究されていない
- 2. 医療機関 (病院、保健機関) や司法機関 (刑務所、少年院、保護観察所) で実施されている薬物依存関連プログラムの多くは、覚醒剤使用者を想定したものであり、大麻使用者に必ずしもフィットしていない可能性があり、検討が必要。
 - 特に、大麻使用の健康影響を受けやすい未成年者に対する予防・支援を充実させていくことが必要。